



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度
土地改良技術
設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
土地改良技術事務所

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				5,222,000	
・直接人件費	1.000	式		5,222,000	
・・・直接人件費	1.000	式		5,222,000	
・・・ 1.準備作業	1.000	式	175,000	175,000	1式当たり
S63003 1.準備作業	1.000	式	175,000	175,000	歩A・単A S単 1号
合 計				175,000	
・・・ 2.現地踏査	1.000	式	175,000	175,000	1式当たり
S63007 2.現地踏査	1.000	式	175,000	175,000	歩A・単A S単 5号
合 計				175,000	
・・・ 3.流速係数C値の計測	1.000	式	2,704,000	2,704,000	1式当たり
T00001 3-1.計測準備	1.000	箇所	292,769	292,769	歩A・単A T単 1号
T00002 3-2.計測	1.000	箇所	1,016,158	1,016,158	歩A・単A T単 2号
T00007 3-3.管内面調査	1.000	箇所	1,051,650	1,051,650	歩A・単A T単 4号
T00003 3-4.復旧	1.000	箇所	343,475	343,475	歩A・単A T単 3号
合 計				2,704,052	
・・・ 4.流速係数C値の整理	1.000	式	815,000	815,000	1式当たり
S63003 4.流速係数C値の整理	1.000	式	814,850	814,850	歩A・単A S単 2号
合 計				814,850	
・・・ 5.照査	1.000	式	100,000	100,000	1式当たり
S63003 5.照査	1.000	式	100,350	100,350	歩A・単A S単 3号
合 計				100,350	
・・・ 6.点検取りまとめ	1.000	式	271,000	271,000	1式当たり
S63003 6.点検取りまとめ	1.000	式	270,650	270,650	歩A・単A S単 4号
合 計				270,650	
・・・ 打合せ(設計)	1.000	式	263,000	263,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.06日	2.000	回	70,840	141,680	歩A・単A S単 12号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.06日	2.000	回	60,536	121,072	歩A・単A S単 13号
合 計				262,752	
・・・ 現地への移動に係る基準日額	1.000	式	719,000	719,000	1式当たり
S63007 移動に係る基準日額:現地踏査	1.000	式	350,000	350,000	歩A・単A S単 10号
S63007 移動に係る基準日額:計測作業	1.000	式	369,000	369,000	歩A・単A S単 11号
合 計				719,000	

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 1. 準備作業 設計労務(直接人件費内業)		式	175,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 4. 流速係数C値の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	814,850		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 5. 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	100,350		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 6. 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	270,650		歩A・単A
S63007	*** S単 - 5号 *** 2. 現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式	175,000		歩A・単A
S63007	*** S単 - 6号 *** 計測準備 設計労務(直接人件費外業)		式	213,700		歩A・単A
S63007	*** S単 - 7号 *** 計測 設計労務(直接人件費外業)		式	459,800		歩A・単A
S63007	*** S単 - 8号 *** 管内面調査(直接人件費) 設計労務(直接人件費外業)		式	369,000		歩A・単A
S63007	*** S単 - 9号 *** 復旧 設計労務(直接人件費外業)		式	312,250		歩A・単A
S63007	*** S単 - 10号 *** 移動に係る基準日額: 現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式	350,000		歩A・単A
S63007	*** S単 - 11号 *** 移動に係る基準日額: 計測作業 設計労務(直接人件費外業)		式	369,000		歩A・単A
S63010	*** S単 - 12号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.06日		回	70,840		歩A・単A
S63010	*** S単 - 13号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.06日		回	60,536		歩A・単A
S63011	*** S単 - 14号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)		回	652		歩A・単A
S63011	*** S単 - 15号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)		回	652		歩A・単A
S63017	*** S単 - 16号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用): 現地踏査 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,2.00日,0日,,なし,100km L(100km以上)		式	486,981		歩A・単A
S63017	*** S単 - 17号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用): 計測作業 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,一般交通機関,2.00日,0日,,なし,100km L(100km以上)		式	859,037		歩A・単A
S63023	*** S単 - 18号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1, A - 4,500,5cm,0		式	7,341		歩A・単A
T00001	*** T単 - 1号 *** 3-1. 計測準備		箇所	292,769		歩A・単A
T00002	*** T単 - 2号 *** 3-2. 計測		箇所	1,016,158		歩A・単A

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S63003	1. 準備作業 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000	人	66,900	
R04004	技師(A)		1.000	人	59,600	
R04005	技師(B)		1.000	人	48,500	
	合 計				175,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		175,000	
*** S単 - 2号 ***						
S63003	4. 流速係数C値の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師		1.500	人	66,900	
R04004	技師(A)		3.000	人	59,600	
R04005	技師(B)		4.000	人	48,500	
R04006	技師(C)		4.000	人	40,300	
R04007	技術員		5.000	人	36,100	
	合 計				814,850	算出数量 1.000 式
	単 価		式		814,850	
*** S単 - 3号 ***						
S63003	5. 照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.500	人	66,900	
	合 計				100,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		100,350	
*** S単 - 4号 ***						
S63003	6. 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
	合計				270,650	算出数量 1.000 式
	単価		式		270,650	
	*** S単 - 5号 ***					
S63007	2.現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A) 外業	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
	合計				175,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		175,000	
	*** S単 - 6号 ***					
S63007	計測準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C) 外業	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				213,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		213,700	
	*** S単 - 7号 ***					
S63007	計測		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	3.50人				
	6)技師Cの人数	3.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04004	技師(A) 外業	2.500	人	59,600	149,000	
R04005	技師(B) 外業	3.500	人	48,500	169,750	
R04006	技師(C) 外業	3.500	人	40,300	141,050	
	合計				459,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		459,800	
	*** S単 - 8号 ***					
S63007	管内面調査(直接人件費) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C) 外業	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				369,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		369,000	
	*** S単 - 9号 ***					
S63007	復旧 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04005	技師(B) 外業	2.500	人	48,500	121,250	
R04006	技師(C) 外業	2.500	人	40,300	100,750	
R04007	技術員 外業	2.500	人	36,100	90,250	
	合計				312,250	算出数量 1.000 式
	単価		式		312,250	
	*** S単 - 10号 ***					
S63007	移動に係る基準日額：現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	48,500	97,000	

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				350,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		350,000	
	*** S単 - 11号 ***					
S63007	移動に係る基準日額：計測作業 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の人数	0.00人 0.00人 0.00人 2.00人 2.00人 2.00人 2.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04004	技師(A) 外業	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B) 外業	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C) 外業	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員 外業	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				369,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		369,000	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.06日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 着手前・最終 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.060日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04003	主任技師	0.560	人	66,900	37,464	
R04004	技師(A)	0.560	人	59,600	33,376	
	合計				70,840	算出数量 1.000 回
	単価		回		70,840	
	*** S単 - 13号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.06日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 中間 0.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.500日 0.060日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04004	技師(A)	0.560	人	59,600	33,376	
R04005	技師(B)	0.560	人	48,500	27,160	
	合計				60,536	算出数量 1.000 回
	単価		回		60,536	
	*** S単 - 14号 ***					

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「バイブライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種、着手前・最終、通勤により打合せ、、、一般交通機関、0日、、 L < 100km（100km未満）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0 豪雪補正：なし 基本給時間：8.0 深夜時間：0.0		制約作業時間：0.0 冬期補正：なし 亜熱帯補正：なし 超勤時間：0.0
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.06日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金（税別）	0円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	326円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km（100km未満）				
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	326	652	
	合計				652	算出数量 1.000 回
	単価		回		652	
	*** S単 - 15号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種、中間、通勤により打合せ、、、一般交通機関、0日、、L < 100km （100km未満）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0 豪雪補正：なし 基本給時間：8.0 深夜時間：0.0		制約作業時間：0.0 冬期補正：なし 亜熱帯補正：なし 超勤時間：0.0
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.06日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金（税別）	0円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	326円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km（100km未満）				
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	326	652	
	合計				652	算出数量 1.000 回
	単価		回		652	
	*** S単 - 16号 ***					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）：現地踏査		式		1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地、一般交通機関、2.00日、0日、、なし、100km L（100km以上）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0 豪雪補正：なし 基本給時間：8.0 深夜時間：0.0		制約作業時間：0.0 冬期補正：なし 亜熱帯補正：なし 超勤時間：0.0
	1)宿泊地	乙地				
	2)交通機関区分	一般交通機関				
	3)高速道路往復料金（税別）	0円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	38,616円				
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別）	2,016円				
	6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別）	380,016円				
	8)往復移動日数	2.00日				
	9)ライトバン使用日数	0日				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	1.000日				
	14)技師A外業日数	1.000日				
	15)技師B外業日数	1.000日				

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	16) 技師 C 外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	2,363	4,726	
P54203	設計用技師 (A) 日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7 級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54302	鉄道料金 消費税抜き	1.000	式	38,616	38,616	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	2,016	2,016	
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	380,016	380,016	
	合計				486,981	算出数量 1.000 式
	単価		式		486,981	
	*** S 単 - 17 号 ***					
S63017	旅費交通費 (設計外業宿泊用) : 計測作業		式		1.000	歩 A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) 乙地, 一般交通機関, 2.00日, 0日, , なし, 100km L (100km 以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	一般交通機関		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	0円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	51,488円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	2,688円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	506,688円				
	8) 往復移動日数	2.00日				
	9) ライトバン使用日数	0日				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	0.000日				
	14) 技師 A 外業日数	4.500日				
	15) 技師 B 外業日数	10.000日				
	16) 技師 C 外業日数	10.000日				
	17) 技術員外業日数	5.500日				
	18) 往復移動距離区分	100km L (100km 以上)				
P54203	設計用技師 (A) 日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54205	設計用技師 (C) 日当 消費税抜き	2.000	人	2,000	4,000	
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き	2.000	人	1,545	3,090	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師 (C) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (3 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地) 消費税抜き (2 級相当)	1.000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	5.000	人	8,354	41,770	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	10.000	人	8,354	83,540	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	10.000	人	8,354	83,540	
P54112	外業の滞在日額旅費 2 級相当以下 宿泊現地到着の翌日より 29 日目まで	6.000	人	6,736	40,416	
P54302	鉄道料金 消費税抜き	1.000	式	51,488	51,488	
P54303	バス料金 消費税抜き	1.000	式	2,688	2,688	

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P54305	航空料金 消費税抜き	1.000	式	506,688	506,688	
	合計				859,037	算出数量 1.000 式
	単価		式		859,037	
	*** S単 - 18号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 500, 5cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	5cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43542	簡易加除式ファイル A 4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	47	0	
	合計				7,341	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,341	

事業名	土地改良技術
業務名	設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
*** T単 - 1号 ***						
T00001	3-1. 計測準備		箇所		1.000	歩A 当たり算出
S63007	計測準備	1.000	式	213,700	213,700	S単 6号
Y00004	雑品	0.370		213,700	79,069	
	合計				292,769	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		292,769	
*** T単 - 2号 ***						
T00002	3-2. 計測		箇所		1.000	歩A 当たり算出
S63007	計測	1.000	式	459,800	459,800	S単 7号
Y00004	雑品	1.210		459,800	556,358	
	合計				1,016,158	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		1,016,158	
*** T単 - 3号 ***						
T00003	3-4. 復旧		箇所		1.000	歩A 当たり算出
S63007	復旧	1.000	式	312,250	312,250	S単 9号
Y00004	雑品	0.100		312,250	31,225	
	合計				343,475	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		343,475	
*** T単 - 4号 ***						
T00007	3-3. 管内面調査		箇所		1.000	歩A 当たり算出
S63007	管内面調査(直接人件費)	1.000	式	369,000	369,000	S単 8号
Y00004	雑品	1.850		369,000	682,650	
	合計				1,051,650	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		1,051,650	

令和6年度

設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局土地改良技術事務所

第1章 総 則

第1-1条 (適用範囲)

本業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条 (目的)

本業務は、設計基準「パイプライン」改定作業の一環として流速係数C値の検証のための計測・整理を行うものである。

第1-3条 (場所)

本業務において流速係数C値の計測等を行う施設の場所は、北海道美唄市茶志内町1区区内で別添図面に示すとおりである。

第1-4条 (土地への立ち入り等)

作業実施のための土地の立ち入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1-5条 (低入札価格契約における第三者照査)

(1) 予算決算及び会計令(以下、「予決令」という。)第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合には、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査(以下、「第三者照査」という。)を実施しなければならない。

(2) 第三者照査の企業に要求される資格

- 1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
- 2) 九州農政局において、測量・建設コンサルタント等契約に係る令和7・8年度の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けていること。
- 3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- 4) 共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
- 5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

ア 資本関係

- (ア) 親会社と子会社の関係にある
- (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある

イ 人的関係

- (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

(3) 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- 1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- 2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

(4) 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

(5) 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

(6) 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第 4-1 条打合せに示す打合せ時期のうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

(7) 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書第 1-12 条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス (AGRIS) の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

(8) 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第 41 条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第 1-6 条 (履行確実性評価の達成状況の確認)

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料を基に以下の内容について履行確実性の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査事項 a) ~ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査事項 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

第 1-7 条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

第 1-8 条 (管理技術者)

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	農学	
ビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

第1-9条（照査技術者）

(1) 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 共通仕様書第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 業務計画書作成時
- 2) 流速係数C値の整理段階
- 3) 報告書案作成時
- 4) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

また、照査により作成した資料は、共通仕様書第1-7条第5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

(3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1-10条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-11条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-12条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条（適用する図書）

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂) 年月	備 考
1	土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」	農業農村工学会	令和3年6月	

第2-2条 (参考図書)

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、監督職員と協議の上決定するものとする。

第2-3条 (貸与資料等)

貸与資料は、次のとおりである。

分類	名 称	数量	備 考
業務 報告書	令和5年度 設計基準「パイプライン」水理データ現況調査業務	1式	
業務 報告書	令和5年度 設計基準「パイプライン」管路流速係数現況調査業務	1式	
その他	その他参考となる資料	1式	

第2-4条 (参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-2条、第2-3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、または解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2-5条 (作業条件)

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分に打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 流速係数C値の計測を行う時期は、監督職員と協議の上決定するものとする。

第3章 作業内容

第3-1条 (作業項目及び数量)

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1「作業項目内訳表」に○印で示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1式	
2. 現地踏査	1式	
3. 流速係数C値の計測	1式	
4. 流速係数C値の整理	1式	
5. 照査	1式	
6. 点検取りまとめ	1式	

第3-2条（作業の留意点）

本業務の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、設計手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 現地作業において、異常等がある場合は、作業を中止し、遅延なく監督職員へ報告するものとする。
- (4) 空気弁工補修弁交換については、別添図面によるものとする。なお、交換する補修弁は施設管理者より引き渡しを受け、既設の補修弁については発注者に引き渡すものとする。

第3-3条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（現地踏査の整理段階）

第3回 中間打合せ（測定結果の整理段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

第5-1条（成果物）

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部
- (2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

第5-2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は次のとおりとする。

熊本県熊本市東区東町4丁目5-7
九州農政局土地改良技術事務所

第6章 契約変更

第6-1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第3-2条に示す「作業の留意点」に変更が生じた場合
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (5) 履行期間の変更が生じた場合
- (6) 関係機関等対外的協議等により作業計画等に変更が生じた場合
- (7) その他

第7章 定めなき事項

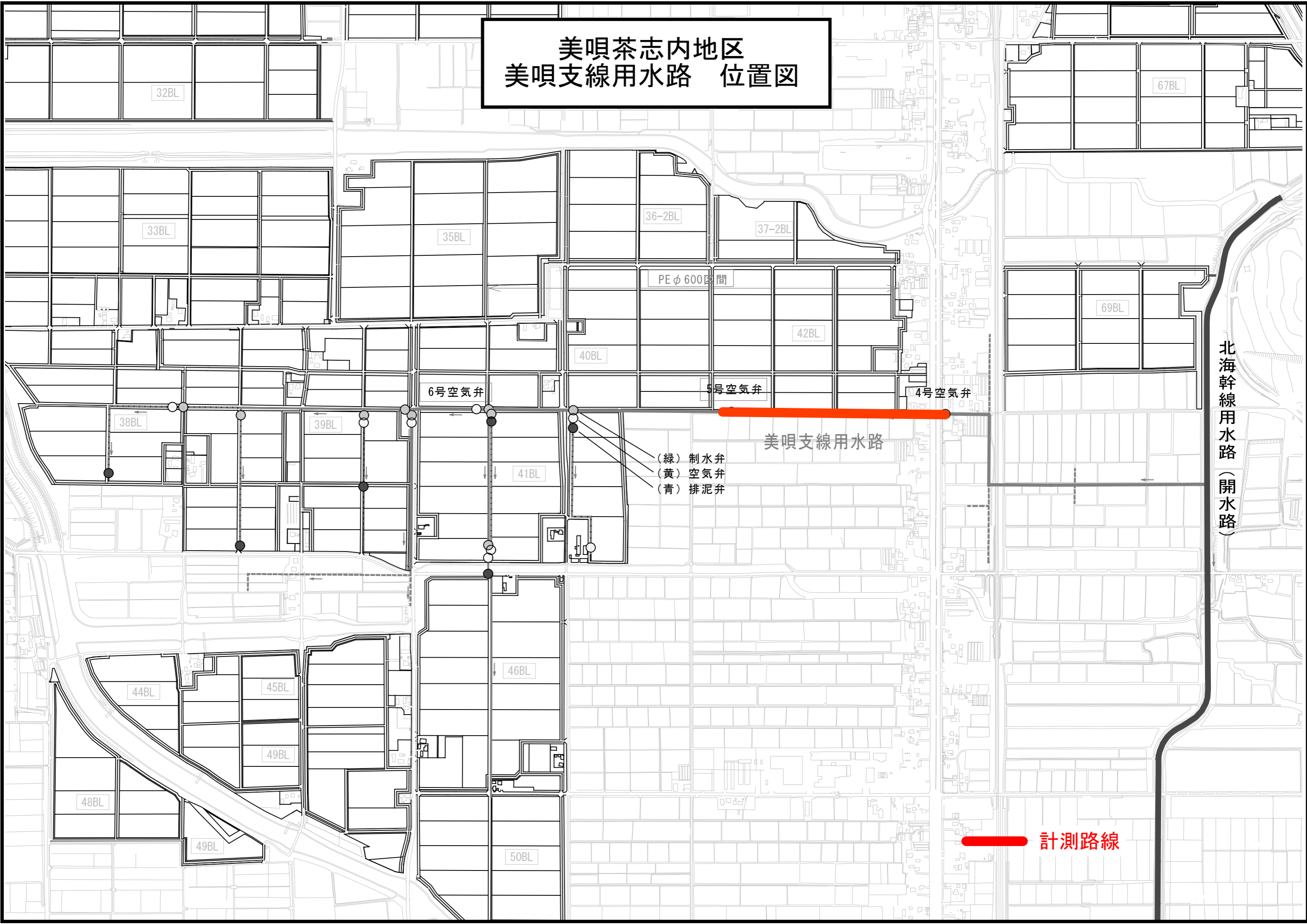
第7-1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙 1】 作業項目内訳表

作業項目	作業内容	作業 実施欄
1. 準備作業	<p>本業務のための貸与資料及び参考文献等を整理・把握し、作業計画を樹立する。</p> <p>計測・調査個所は、以下を予定している。</p> <p>美唄茶志内地区：美唄支線用水路（PEGF φ600）1区間</p>	○
2. 現地踏査	<p>計測箇所及びその周辺について、計測のために必要な現地踏査を行う。</p>	○
3. 流速係数C値の計測	<p>「1. 準備作業」で作成した作業計画に基づき、3-1.～3-6.の作業を行う。</p> <p>計測点は、2地点（流速及び水圧計測1地点、水圧計測1地点）を想定している。</p> <p>なお、計測に伴う作業期間は1週間程度を想定している。</p>	○
3-1. 計測準備	<p>計測準備として、空気弁等の取り外し及び計測機器の設置を行う。</p>	○
3-2. 計測	<p>空気弁を使用し各区間の流速及び水圧を計測する。</p>	○
3-3. 管内面調査	<p>流速係数C値計測区間において、管内面調査（不断水状態）を行う。</p> <p>調査個所は計測管内の空気弁（5号空気弁）とし、調査延長は、空気弁から上流側・下流側に各10m程度を想定している。</p>	○
3-4. 復旧	<p>計測のため設置した計測機器の取り外し及び取り外した空気弁等の復旧を行う。</p>	○
3-5. 空気弁保護工撤去・復旧	<p>空気弁等の取り外し及び復旧に支障となる空気弁保護工の撤去・復旧を行う。</p>	○
3-6. 補修弁の交換	<p>管内面調査のために設置していたボール弁型補修弁を、計測前のバタフライ弁型補修弁に交換する。</p>	○
4. 流速係数C値の整理	<p>本業務の計測結果より流速係数C値の算定を行うとともに、過年度業務の成果も踏まえ、流速係数C値について整理する。</p>	○
5. 照査	<p>照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。</p>	○
6. 点検取りまとめ	<p>各項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。</p>	○

美唄茶志内地区 美唄支線用水路 位置図



北海幹線用水路 (開水路)

- (緑) 制水弁
- (黄) 空気弁
- (青) 排泥弁

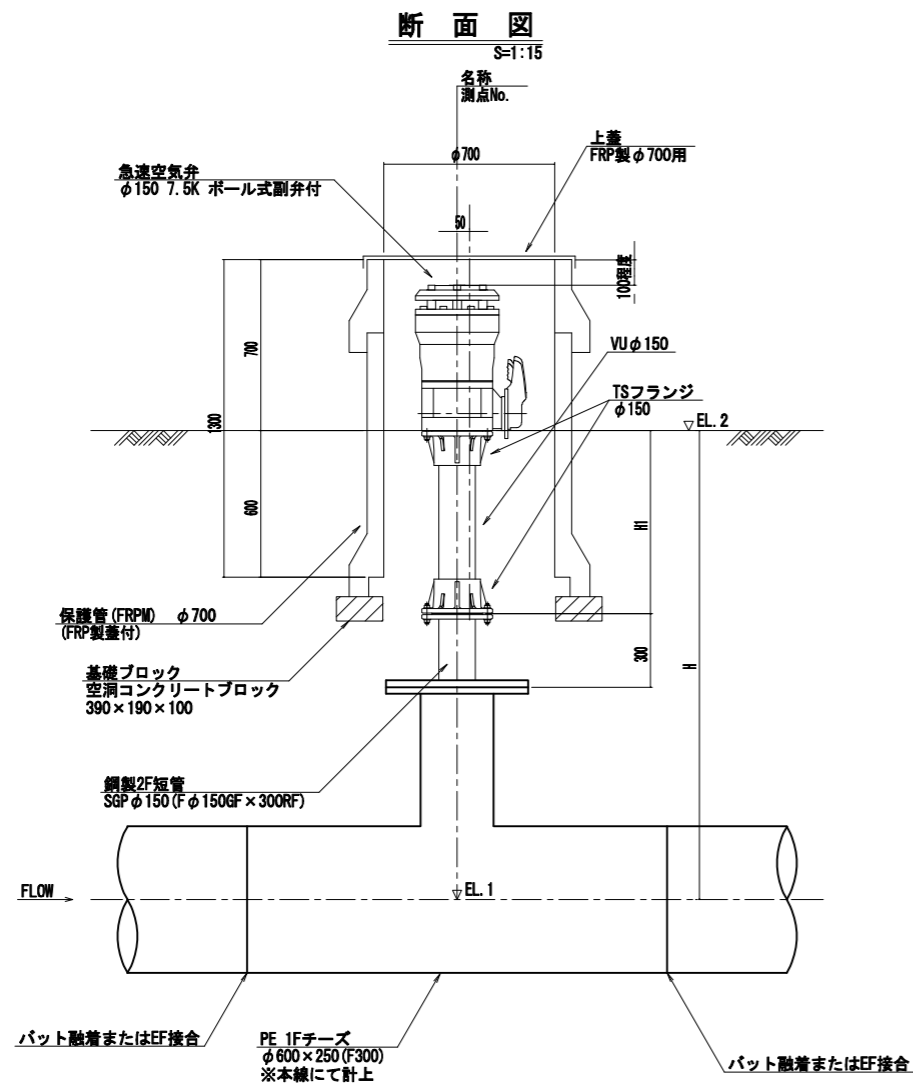
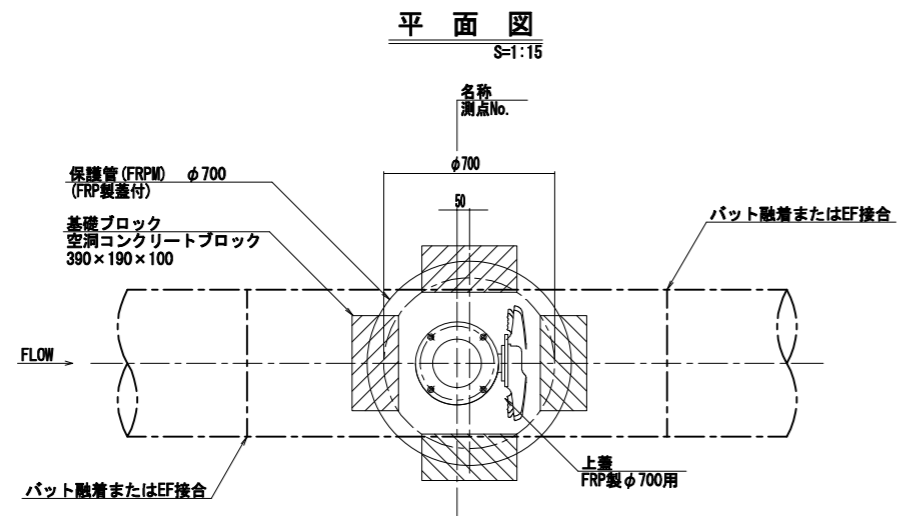
計測路線

空気弁工標準図(1)

(標準タイプ)

特記事項

1. 寸法は特に示さぬ限りmm単位、標高及び測点はm単位で示す。



諸元表

名称	測点	EL. 1	EL. 2	H	HI	備考
第5号空気弁工	No. 14+0.00	20.07	21.72	1.65	350	

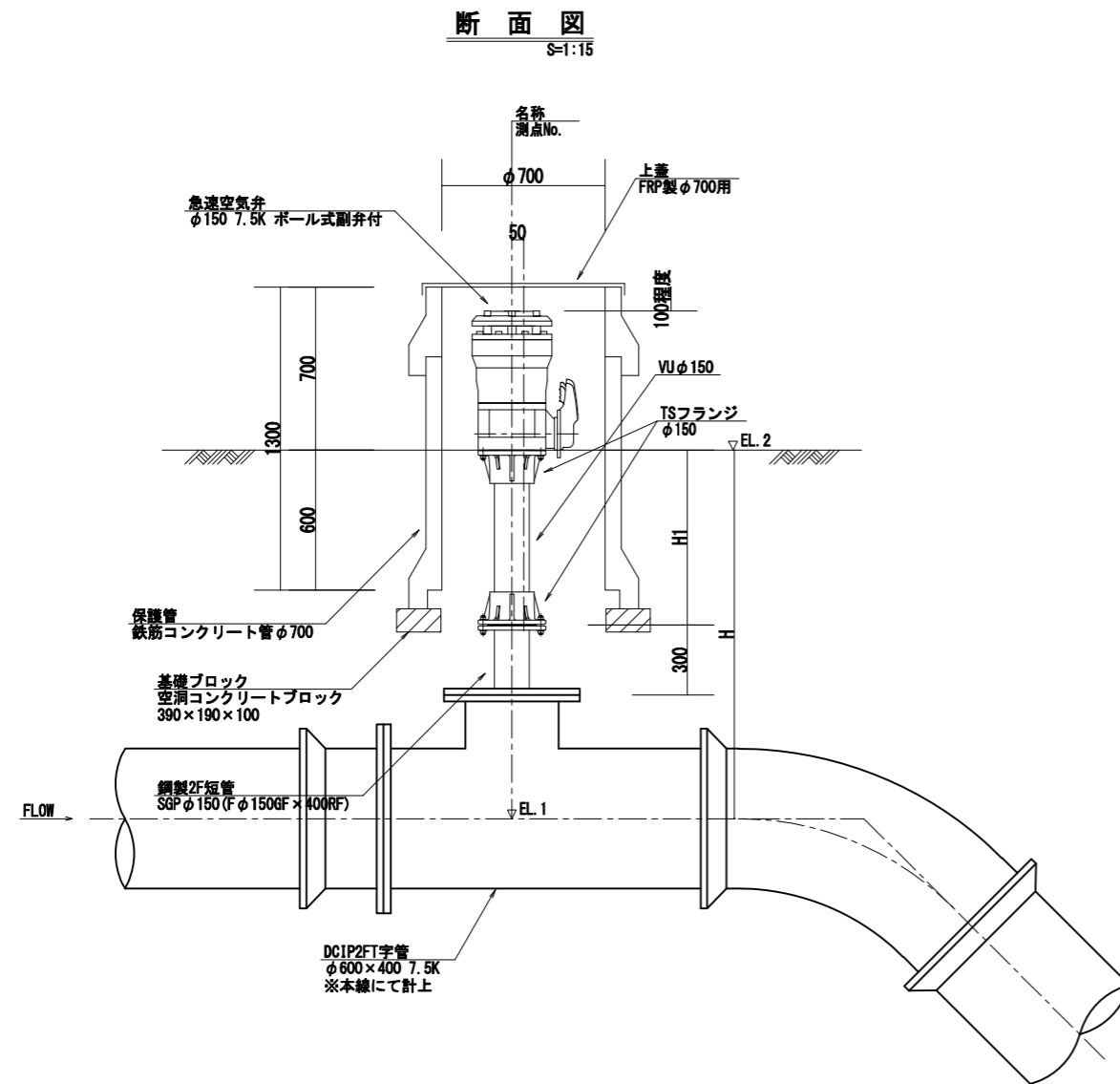
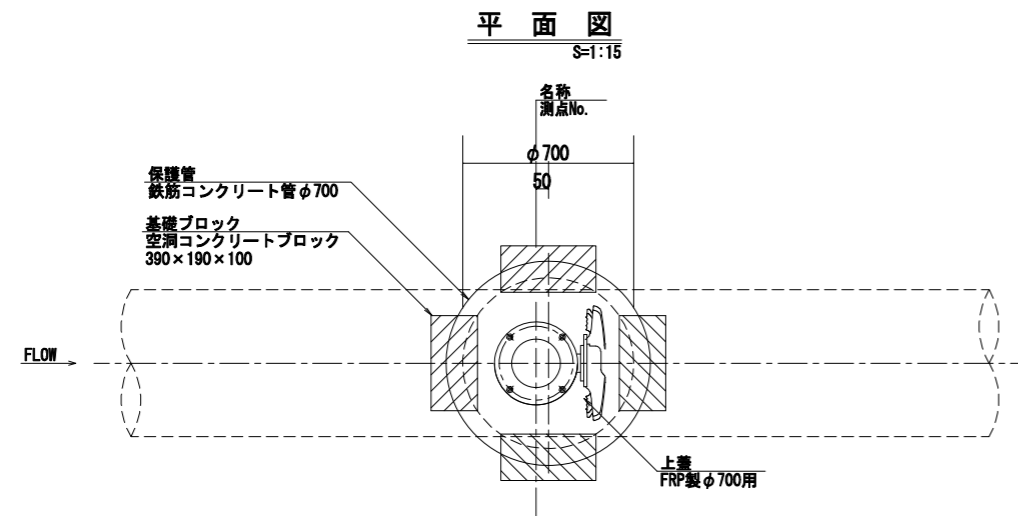
工事名	平成28年度施行 美幌支庁内地区 71工区用排水路外一連工事		
図面名	支線用水路: 空気弁工標準図(1)		
年月日	平成 年 月 作成		
縮尺	S=1:15	図面番号	8-1/3
会社名			
事業所名	北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢農業事務所		

空気弁工標準図(2)

(推進工上下流)

特記事項

1. 寸法は特に示さぬ限りmm単位、標高及び測点はm単位で示す。



諸元表

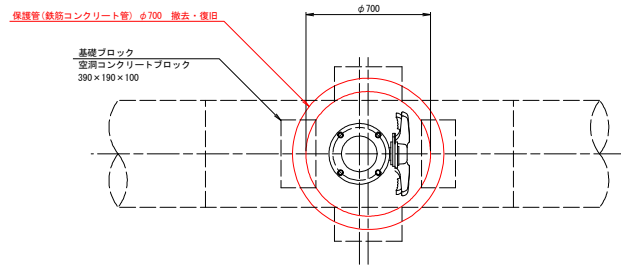
名称	測点	EL. 1	EL. 2	H	H1	備考
第1号空気弁工	新No. 5+7.12	25.85	27.79	1940	1110	
第2号空気弁工	No. 5+56.36	25.31	27.17	1860	1030	
第4号空気弁工	新No. 8+96.40	23.20	25.10	1900	1070	

工事名	平成28年度施行 美幌支庁内地区 71工区用排水路外一連工事		
図面名	支線用水路: 空気弁工標準図(2)		
年月日	平成 年 月 作成		
縮尺	S=1:15	図面番号	8-2/3
会社名			
事業所名	北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢農業事務所		

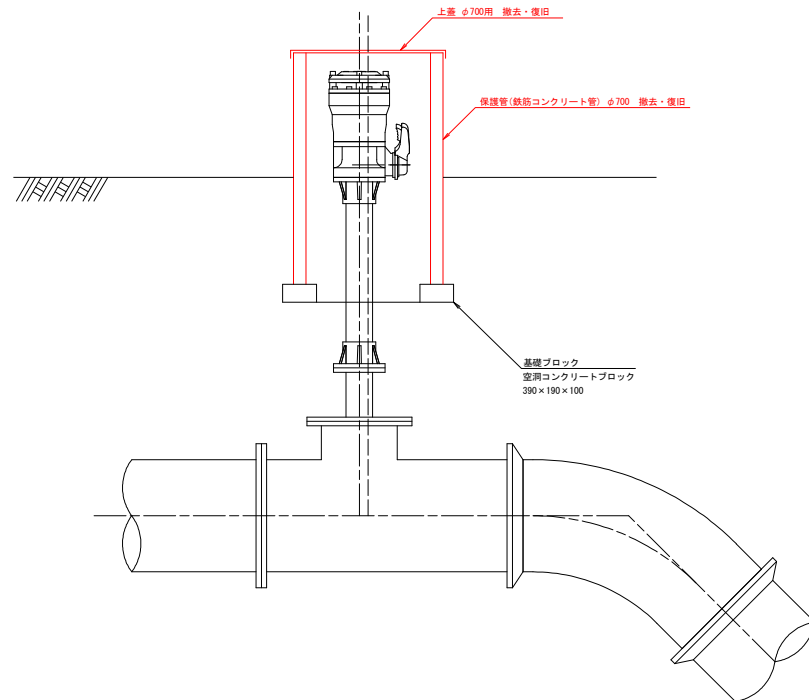
空気弁保護工撤去復旧図

第4号空気弁工

平面図

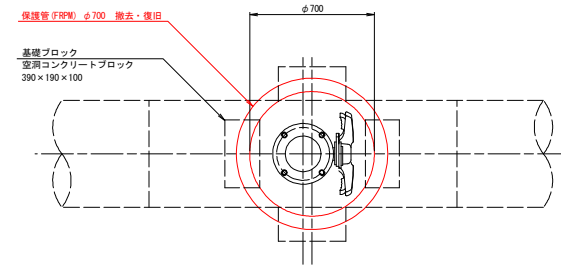


断面図

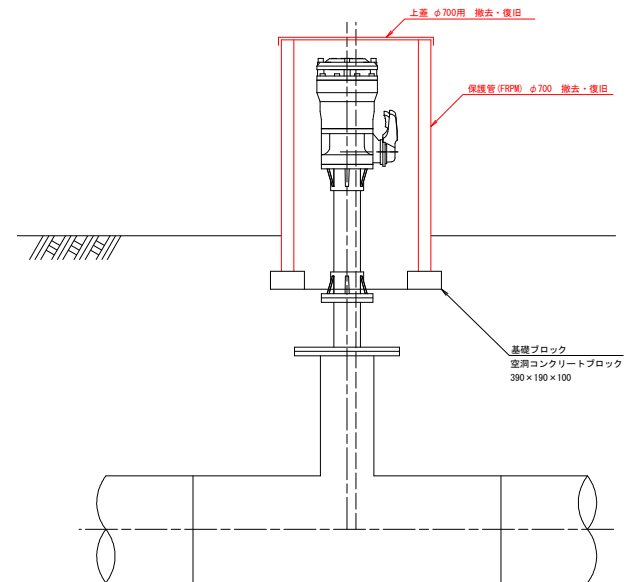


第5号空気弁工

平面図



断面図



業務名			
図面名	空気弁保護工撤去復旧図		
年月日			
縮尺		図面番号	
会社名			
事業所名			

